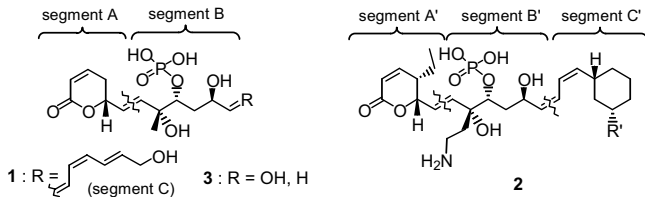


31【P1】I-005

収束型合成経路による Fostriecin 及び^b Leustroductsin 類縁体の合成研究
○常深 智之¹, 池尻 昌宏¹, 宮下 和之¹, 今西 武¹(¹ 阪大院薬)

[目的] 抗腫瘍性抗生物質 fostriecin(**1**)は、プロテインホスファターゼ 2A・4 の選択的阻害作用、DNA トポイソメラーゼ II 阻害作用を示し、その構造類縁体 leustroductsin 類(**2**)は血小板増多作用を示すことが知られている。我々は既に収束型経路による fostriecin の全合成に成功しているが、¹⁾ 今回、より高活性な化合物の創製を目ざし、本合成経路を活用して leustroductsin 類とのハイブリッド型類縁体も含めた各種誘導体の合成方法を確立することを目的とする。

[実験・結果] まず、先の合成法を基に fostriecin の非トリエン構造類縁体(**3**)の合成に成功した。また、leustroductsin とのハイブリッド型類縁体合成を目ざし、対応するセグメント B' の立体選択的合成にも成功した。さらにセグメント A' についてはトランス-2-ペンテノールより不斉エポキシ化反応とアルケンを用いた増炭反応を利用して検討を行ったのでその詳細について報告したい。



1) Miyashita, K.; Ikejiri, M.; Kawasaki, H.; Maemura, S.; Imanishi, T. *J. Am. Chem. Soc.* **2003**, 125, 8238.